



「向原改良事業」本格的に工事着手！ 平成21年度開通予定

記者発表資料

国道246号山北町向原地区の、向原改良事業（バイパス）について、本格的な工事に着手し、平成21年度の開通を目指します。

○ 現在の国道246号（山北町向原地区）

- ・歩道が未整備であり、住民の日常生活、歩行者の歩行に支障をきたしている。
当該周辺地域の国道246号で**向原地区のみ歩道が未整備**。
 - ・道路線形が悪く、幅員狭小で大型車の通行に支障をきたしている
大型車の割合が**約50%（夜間は60%以上）**→神奈川県平均の**約3倍**と非常に高い。
向原地区を通行している車のうち、**約9割は通過**するだけの交通。
- ⇒道路構造に起因する移動性の障害により「渋滞見える化プラン」の要対策箇所に選定。



□ 向原改良（バイパス）整備による効果

- ・バイパス→歩道が設置され、歩行者の安全性向上。
幅員が広く、スムーズな道路線形となり車の安全性向上。
- ・現国道 →通過する交通がバイパスに転換し、住民生活・沿道環境が改善。

◇ 今後の取り組み

- ・平成21年度の開通を目指します。
- ・バイパス完成後、現国道の再整備（歩道空間確保等）を実施します。

平成18年12月27日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
神奈川県政記者クラブ	小田原記者クラブ	

問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所	045-311-2981（代表）
計画課長 <small>どひ まなぶ</small> 土肥 学	内線 451
工務課長 <small>あさこ かつひさ</small> 浅古 勝久	内線 411

○ 現在の国道246号(山北町向原地区)

- ・歩道が未整備であり、住民の日常生活、歩行者の歩行に支障をきたしている。
- ・道路線形が悪く、幅員狭小で大型車の通行に支障をきたしている。
- ⇒道路構造に起因する移動性の阻害により「渋滞見える化プラン」の要対策箇所に選定。

住民の日常生活、歩行者の歩行、大型車の通行に支障をきたしている状況

- ・当該箇所は道路線形が悪く、幅員狭小で歩道が整備されていない。
 - ・当該周辺地域の国道246号で**向原地区のみ歩道が未整備**。
 - ・日当たり交通量は約2万4千台^{※1}のうち大型車が**約50%**(夜間:**約60%以上**)通行しており、大型車の割合が神奈川県内平均の**約3倍**と非常に高い地区。^{※2}
 - ・向原交差点は、交差点死傷事故率が神奈川県平均の**約2倍**。^{※3}
 - ・向原地区を通行している車のうち、**約9割は通過**するだけの交通。
- ※1: H17交通センサスデータ(山北町向原)
 ※2: 高速道路を除く神奈川県
 ※3: H13~H16事故データ

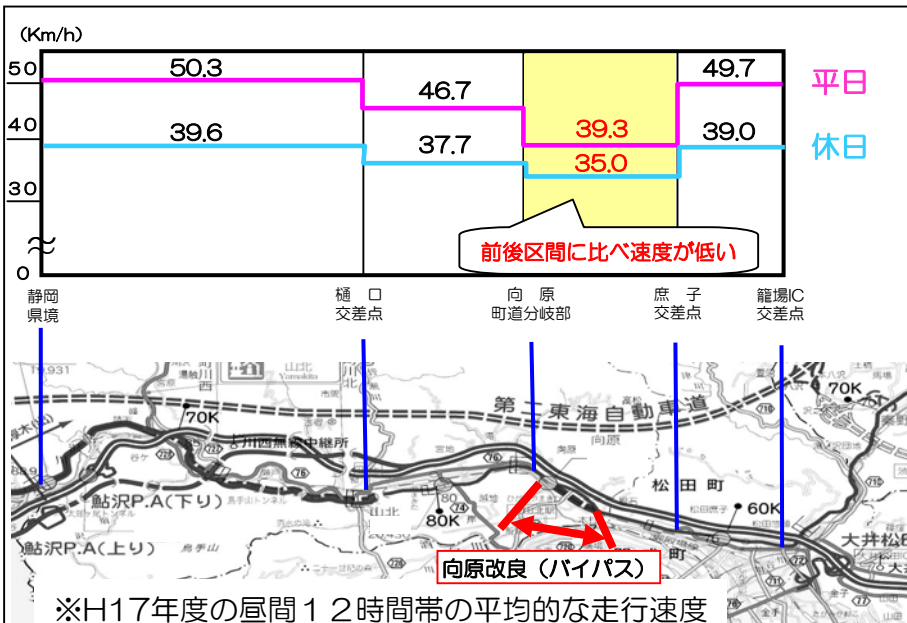
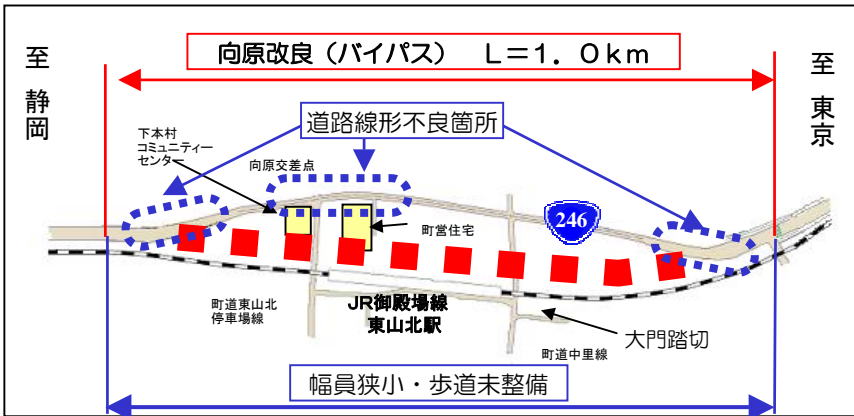
幅員狭小(歩行者通行状況)



幅員狭小(大型車すれ違い状況)



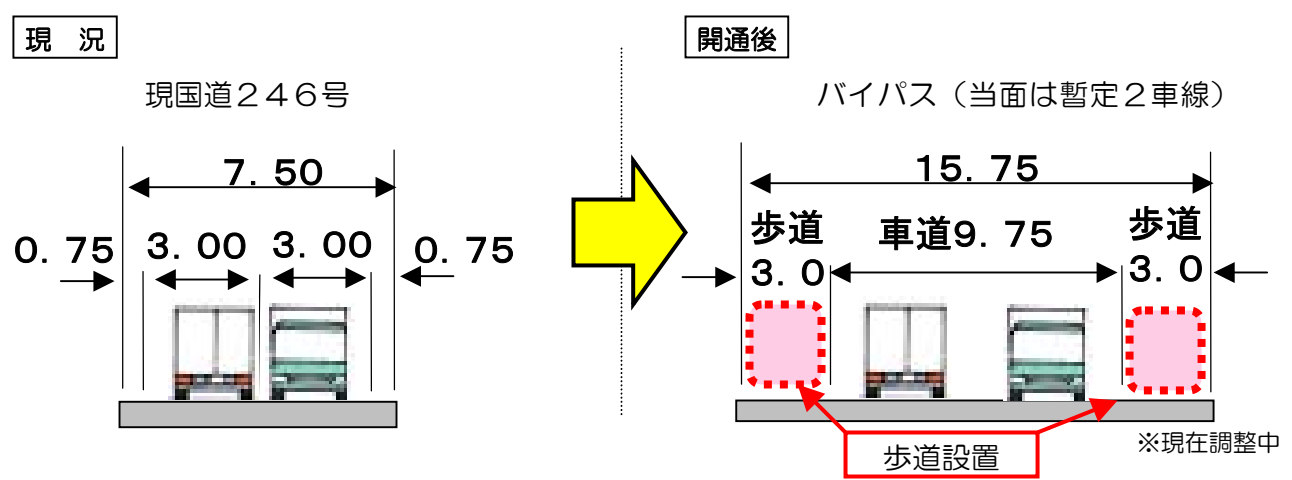
線形不良(急カーブ)



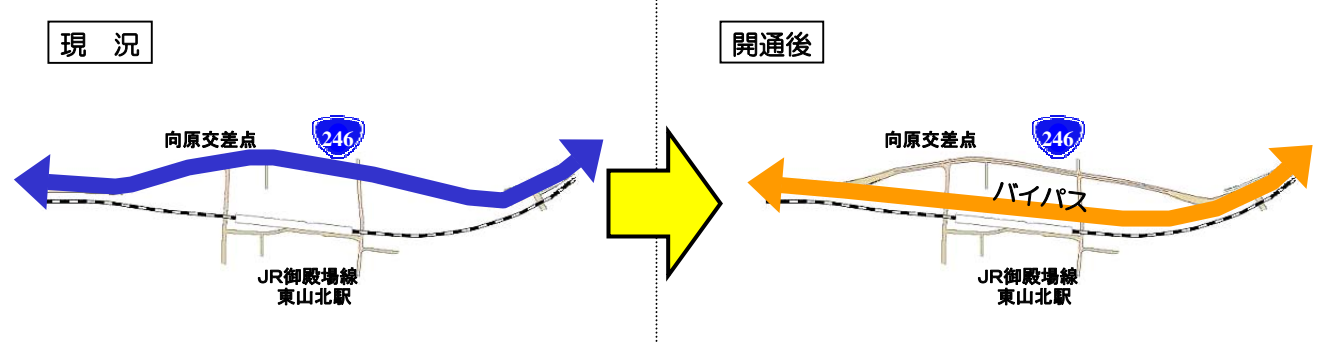
□ 向原改良(バイパス)整備による効果

- ・バイパス→歩道が設置され、歩行者の安全性向上。
幅員が広く、スムーズな道路線形となり車の安全性向上。
- ・現国道 →通過する交通がバイパスに転換し、住民生活・沿道環境が改善。

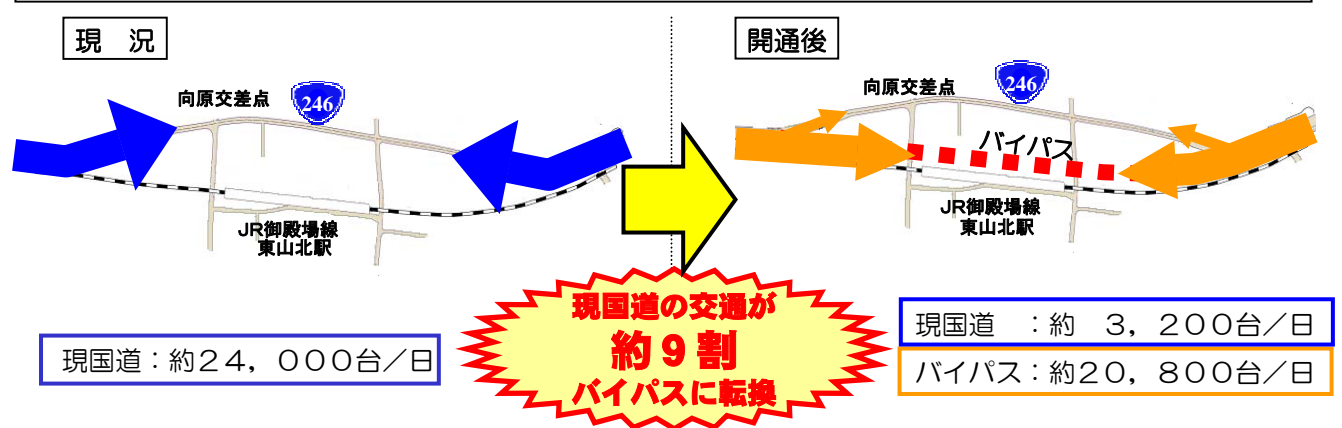
○歩道を設置し、車道幅員も広いため、歩行者・車の安全性向上



○道路線形の改善 (S字線形から、スムーズな線形に)



○住民生活、沿道環境が改善 (バイパスに交通が転換)

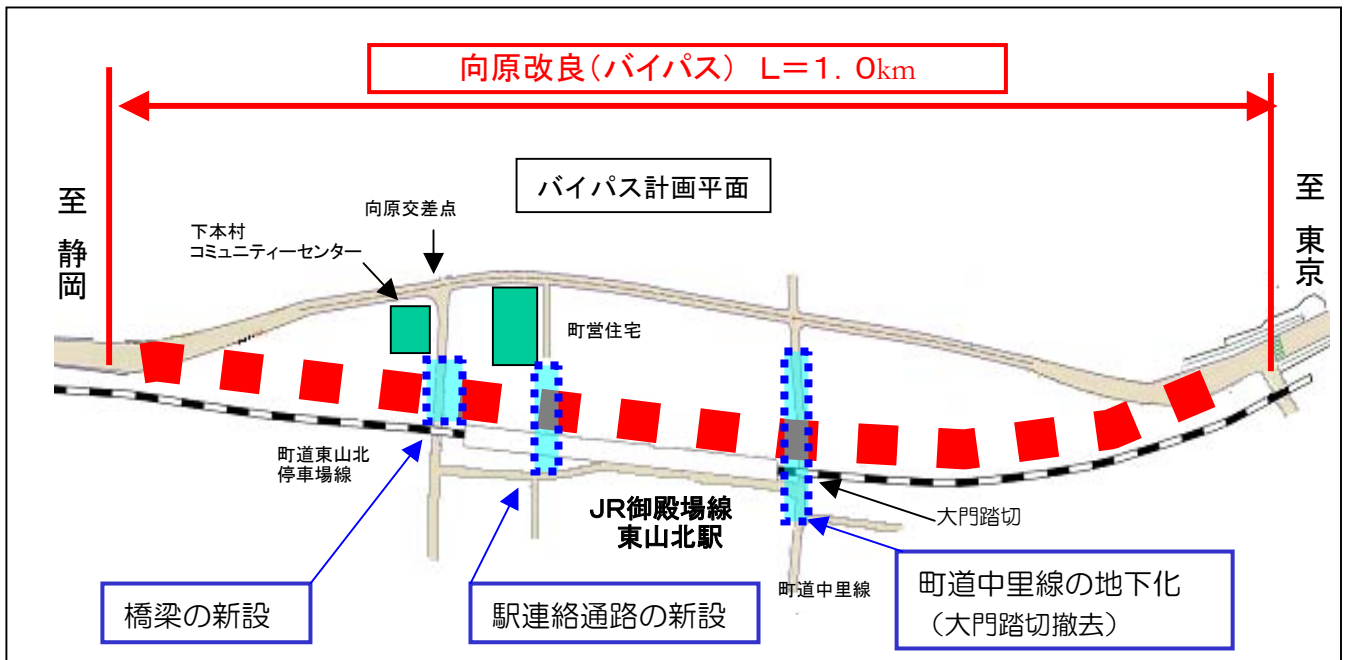


◇ 今後の取り組み

向原改良(バイパス)工事に着手し、平成21年度の開通を目指します。
バイパス完成後、現国道の再整備(歩道空間確保等)を実施します。

○向原改良工事に着手

まず工事の第一弾として、バイパスを横断する町道の地下化及び
駅連絡通路の工事を年明けから行います。



箇所	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
町道中里線地下化	■				
駅連絡通路新設	■				
橋梁新設			■		
全体 (バイパス本線部)				■	
現国道再整備 (歩道空間等の確保)					■

年明け工事着手

平成21年度のバイパス開通予定▲

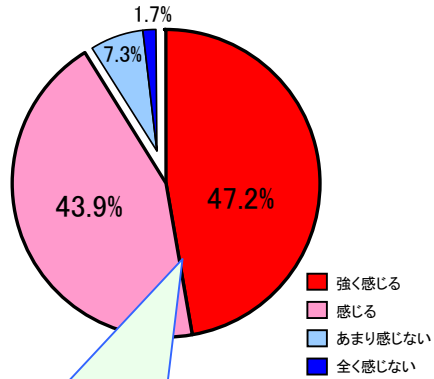
調査票、インターネット、携帯電話によるアンケートを実施し、抽出した対策の必要な箇所が利用者の実感と合っているかを確認

アンケート調査結果

全地区・箇所で行ったアンケートの結果とおおむね合致

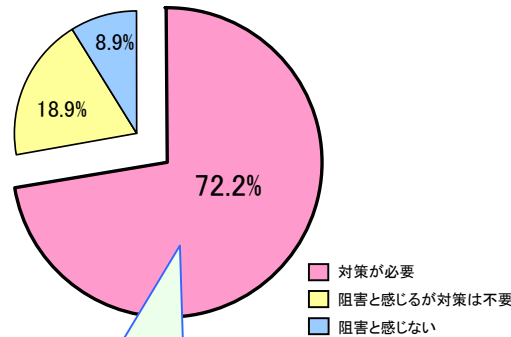
13地区34箇所のアンケート結果を合計すると

移動性が阻害されていると感じるか



約9割が「移動性が阻害されている」と感じると回答

対策が必要と感じるか



約7割が「対策が必要」と回答

データにより抽出した対策の必要な箇所に対する利用者の実感を確認
抽出した13地区34箇所を要対策地区・箇所として選定

今後の取り組み

- ◆原因・課題やデータを分析し、重要度の高い箇所を選定します
- ◆データに基づく解決策を検討します
- ◆必要性の高い箇所から対策を実施します
- ◆効果を検証します

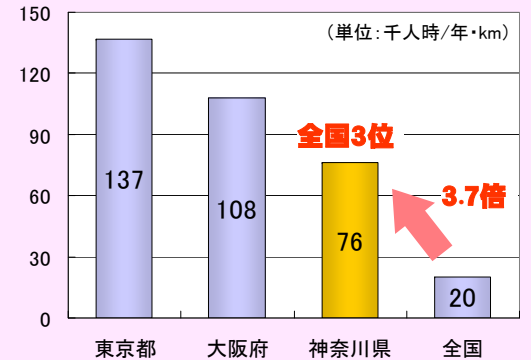
検討過程
結果等を公表

渋滞見える化プラン

神奈川県は渋滞は...

- 全国で ワースト3位
- 全国平均の 3.7倍

※データは「渋滞による損失時間」の比較
(出典:国土交通省 業績計画書)



県内 約1,500kmの道路から、道路利用者アンケートを踏まえ、13地区34箇所(全体の約5%)を厳選。

- 道路の課題をデータできちんと把握します。
- 解決を急ぐべきところから重点的に対策します。
- 道路行政をもっとわかりやすく「見える化」します。



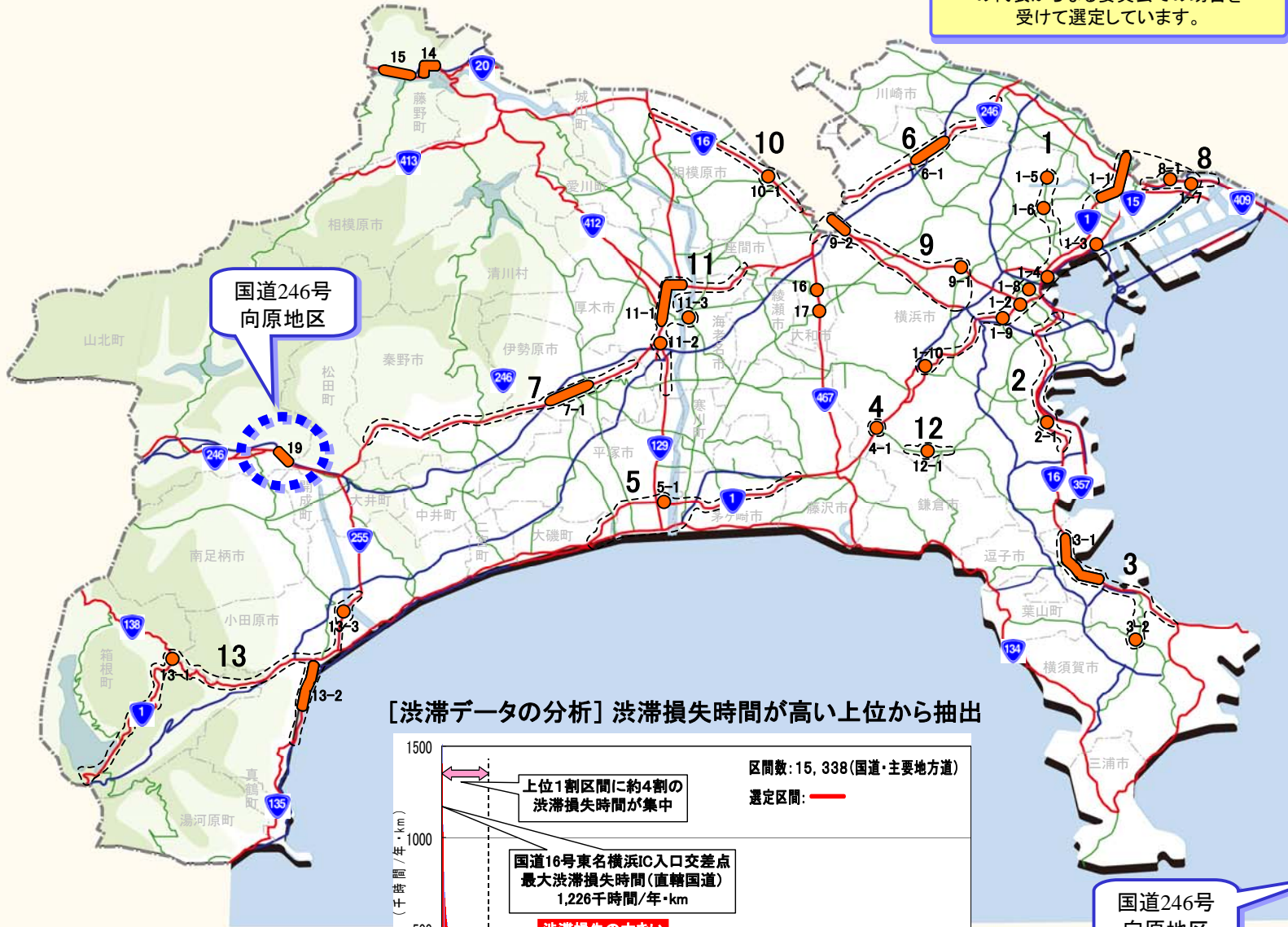
神奈川県移動性向上委員会

データを分析した結果、見えてきた阻害箇所

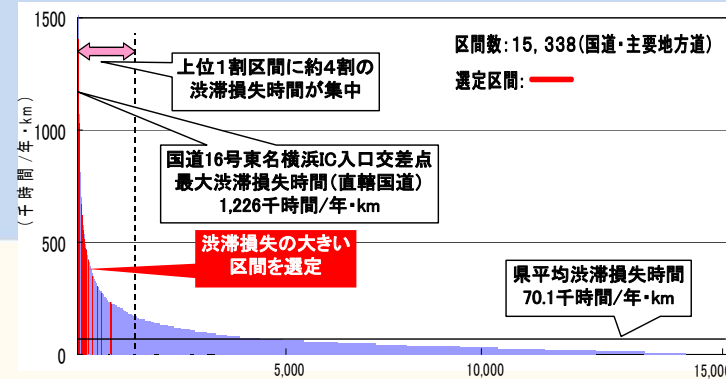
参考

要対策箇所は学識者や道路利用者の代表からなる委員会での助言を受けて選定しています。

■ 要対策箇所として選定された13地区34箇所



【渋滞データの分析】渋滞損失時間が高い上位から抽出



国道246号 向原地区

番号	地区・路線名	箇所	阻害要因
1	川崎横浜都心地区		
1-1	国道1号	多摩川大橋～下末吉交差点	渋滞
1-2	国道1号	浜松町交差点	渋滞
1-3	国道15号	大黒町入口交差点	渋滞
1-4	国道15号	栄町交差点	道路構造
1-5	(主)東京丸子横浜線	綱島交差点	渋滞
1-6	(主)東京丸子横浜線	大戸町交差点	渋滞
1-7	(主)東京大師横浜線	京急大師線踏切付近	道路構造
1-8	(主)横浜生田線	浅間下交差点～岡野交差点	渋滞
1-9	国道1号	保土ヶ谷橋交差点	渋滞
1-10	国道1号	不動坂交差点	渋滞
2	横浜横須賀連結地区		
2-1	国道16号	青砥坂交差点～杉田交差点	渋滞
3	横須賀地区		
3-1	国道16号	吉倉町～追浜町	道路構造
3-2	(主)横須賀三崎線	衣笠十字路交差点	渋滞
4	原宿地区		
4-1	国道1号	原宿交差点	渋滞
5	湘南地区		
5-1	国道1号	工業団地入口交差点	渋滞
6	横浜川崎北西地区		
6-1	国道246号	新石川交差点～江田駅東交差点～市ヶ尾交差点	渋滞
7	厚木秦野地区		
7-1	国道246号	市役所入口交差点～桜坂交差点	渋滞
8	川崎縦貫地区		
8-1	国道409号	京急大師線踏切付近	渋滞
9	保土ヶ谷地区		
9-1	国道16号	梅の木交差点	渋滞
9-2	国道16号	東名横浜町田IC付近	渋滞
10	相模原地区		
10-1	国道16号	鶴野森交差点～若松2丁目交差点	渋滞
11	さがみ縦貫地区		
11-1	国道246号	金田交差点～文化会館入口交差点	渋滞
11-2	国道129号	国道246号交点～船子北谷交差点	渋滞
11-3	(主)町田厚木線	相模大橋東交差点	渋滞
12	横浜南部地区		
12-1	(主)原宿六浦線	笠間交差点	渋滞
13	小田原箱根地区		
13-1	国道1号	宮の下交差点	渋滞
13-2	国道135号	石橋IC(西湘BP)～早川口交差点	渋滞
13-3	国道255号	飯泉入口交差点	自然災害
14	国道20号	与瀬～吉野(通行規制区間)	自然災害
15	国道20号	藤野町中心部(吉野～小淵)	道路構造
16	国道467号	光ヶ丘交差点	渋滞
17	国道467号	桜ヶ丘交差点	渋滞
18	(主)横浜伊勢原線	用田交差点	渋滞
19	国道246号	向原	道路構造

利用者アンケートによると
 ■ 非常に高い
 ■ 移動性の阻害感